

<p>コース名 発達基礎理論研究コース</p>	<p>2024 年度回数 10回</p>	<p>担当者 荒木穂積</p>
<p><b>講義内容・テーマ</b></p> <p>本コースでは、田中昌人らによって提起されてきた「可逆操作の高次化における『階層－段階』」(『階層－段階』理論と略称する)の学習を、田中昌人らの著作や文献・資料に戻りながらすすめていきます。今年度は、幼児期の階層の幼児期Ⅰ(1歳半から3歳まで)の学習をすすめます。あわせて大津市の障害児保育の記録映画『光の中に子供たちがいる』(三部作,1975,1976,1977年制作)の映像や解説も取り上げ、話しことば獲得期の発達の諸問題も取りあげます。</p> <p>前半では、田中昌人『1歳児の発達診断入門』(大月書店,1999年)、久保田正人『二歳半という年齢』(新曜社,1993年)、今井和子『子どもとことばの世界』(ミネルヴァ書房,1996年)、L.ベルーヌ『乳幼児期』(朱鷺書房,邦訳1988年)など文献から話しことば獲得期(1歳半から3歳まで)などの参考文献から、話しことばや遊びの世界と自我の誕生・拡大・充実の姿の学習をすすめます。</p> <p>後半では田中昌人の「可逆操作の高次化における『階層－段階』」理論(『階層－段階』理論と略称)と発達診断の実際に焦点をあてて学習をすすめてゆきます。テキストは田中昌人・田中杉恵『子どもの発達と診断3: 幼児期Ⅰ』大月書店,1984年です。併行して田中昌人『人間発達の科学』青木書店,1980年,田中昌人『人間発達の理論』青木書店,1987年,田中杉恵『発達診断と大津方式』青木書店,1990年などの文献を手がかりに学習をすすめてゆきます。</p> <p>本コースではエキストラとして冬期に集中講義を計画します。今年度は「話しことばの獲得と自我の発達」(仮題)の現状と課題を学ぶ予定です。</p> <p>発達入門コース,発達診断方法論(基本編・臨床編)コース,研究科を履修中の人または修了した人,若手大学院生,発達相談,保育・教育,福祉,医療などの分野で実践している人,『階層－段階』理論の実践と応用に興味をもっている人,『階層－段階』理論を再学習したい人など,乳幼児期の発達理論や実践に興味や関心のあるみなさんの参加を期待しています。</p>		
<p><b>授業の流れ</b></p> <p>第1回目：オリエンテーションおよび『階層－段階』理論の歴史的変遷(概要)と幼児期の階層の解説および前半の発表分担について</p> <p>第2回目：「話しことば獲得期」(その1)1歳半ごろの言語発達と自我の誕生</p> <p>第3回目：「話しことば獲得期」(その2)2歳前後の言語発達と自我の拡大</p> <p>第4回目：「話しことば獲得期」(その3)2歳半から3歳ごろの言語発達と自我の充実</p> <p>第5回目：「話しことば獲得期」(その3)2歳半から3歳ごろの言語発達と自我の充実 ※前半のふりかえりとテキスト1『子どもの発達と診断3: 幼児期Ⅰ』の発表分担(後半)</p> <p>第6-10回目：『子どもの発達と診断3: 幼児期Ⅰ』(テキスト1)を学ぶ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「1,2歳児の発達段階」(テキスト1: pp.9-30)</li> <li>(2) 「自我の誕生から拡大へ」(テキスト1: pp.31-122)</li> <li>(3) 「自我の拡大から充実へ」(テキスト1: pp.123-216)</li> <li>(4) 「すこやかな発達のために」(テキスト1: pp.217-252)</li> <li>(5) 「幼児期Ⅰ: 1歳半から3歳まで」のふりかえり</li> </ol>		
<p><b>テキスト</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 田中昌人・田中杉恵・有田知行『子どもの発達と診断3: 幼児期Ⅰ』大月書店,1984年</li> <li>(2) 田中昌人「子どもの発達を捉え、平和を希いつづけたピカソ」(第1回～3回),『人間発達研究所通信』No.97,99,100,2004年9月,12月,2005年3月</li> </ol>		

## 参考書・DVD・動画など

- (1) 田中昌人『人間発達の科学』青木書店,1980年
- (2) 田中昌人『人間発達の理論』青木書店,1987年
- (3) 田中昌人・田中杉恵『発達診断の実際』（1～8巻）DVD版,大月書店,2009年
- (4) 田中昌人・田中杉恵『あそびの中にみる子どもたち』（1～6巻）DVD版,大月書店,2009年
- (5) 田中昌人・田中杉恵・有田知行『子どもの発達と診断3：幼児期Ⅰ』大月書店,1984年
- (6) 田中昌人『1歳児の発達診断入門』大月書店,1999年
- (7) 田中杉恵『発達診断と大津方式』青木書店,1990年
- (8) 京都教職員組合養護教員部（編）田中昌人講演記録『子どもの発達と健康教育②—「我しりそめし心」から「理しりそめし心のいとなみ」』クリエイツかもがわ,1988年
- (9) 田中昌人『講座発達保障への道〈3〉—発達をめぐる二つの道—』全国障害者問題研究会出版部,1974年（復刻版,2006年）
- (10) 田中昌人先生を偲ぶ教え子のつどい実行委員会『土割の刻——田中昌人の研究を引き継ぐ——』クリエイツかもがわ,2007年
- (11) 田中昌人『発達研究への志』あいゆうぴい,1996年
- (12) 田中昌人『発達の土割』あいゆうぴい,2001年
- (13) 田中昌人「子どもの発達を捉え、平和を希いつづけたピカソ」（第1回～3回）,『人間発達研究所通信』No.97,99,100,2004年9月,12月,2005年3月
- (14) 中村隆一・渡部昭男（編著）『人間発達研究の創出と展開—田中昌人・田中杉恵の仕事をとおして歴史をつなぐ—』群青社,2015年
- (15) 久保田正人『二歳半という年齢—認知・社会性・ことばの発達—』新曜社,1993年
- (16) ビアンカ・ザゾ,久保田正人・高橋洋代・足立自朗(訳)『2歳児の幼稚園教育は是か非か』大月書店,1989年
- (17) 麻生武『〈私〉の誕生 生後2年目の奇跡I: 自分を指差す、自分の名を言う』東京大学出版会,2020年
- (18) 麻生武『〈私〉の誕生 生後2年目の奇跡II: 社会に踏み出すペルソナとしての自己』東京大学出版会,2020年
- (19) 今井和子『子どもとことばの世界—実践から捉えた乳幼児のことばと自我の育ち』ミネルヴァ書房,1996年
- (20) C.ガーヴェイ,高橋たまき(訳)『「ごっこ」の構造—子どもの遊びの世界—』（育ちゆく子ども 0才からの心と行動の世界 6)サイエンス社,1980年
- (21) ヴィゴツキー・レオンチェフ・エリコニン,神谷栄司(訳)『ごっこ遊びの世界—虚構場面の創造と乳幼児の発達—』法政出版,1989年
- (22) L.ベルーヌ,前田實子・西畑明(訳)『乳幼児期—子と親の愛の世界を築くために—』朱鷺書房,邦訳1988年
- (23) ジャン・ピアジェ,ベルベル・イネルデ,波多野完治・須賀哲夫・周郷博(訳)『新しい児童心理学』白水社(文庫クセジュ 461),1969年

## その他

本コースは,レジュメによる発表など参加型学習形式でおこないます。DVDや動画など視覚教材を用いた学習も取り入れていきます。ゼミナールの中で関連文献や資料を紹介・配布する予定です。